

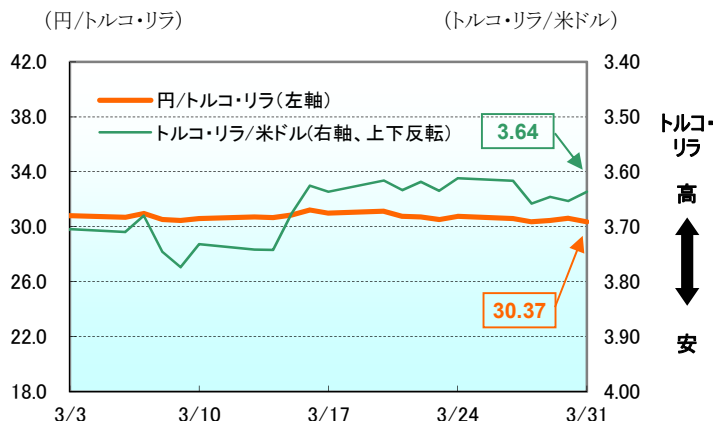
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年3月25日～2017年3月31日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。また、トルコの2年国債金利は低下しました。2016年10-12月期のGDP(国内総生産)は前年同期比+3.5%と市場予想を上回る結果となりました。2016年7月のクーデター未遂の影響が大きかった7-9月期はマイナス成長となっていたことに鑑みると、トルコ経済は最悪期は脱したと考えられます。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年3月3日～2017年3月31日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は3月の消費者物価指数が発表されます。中央銀行はインフレ見通しに改善が見られるまでは、引き締めの金融政策を維持するとみられ、今後の金融政策を占う上でも、インフレ動向に注目が集まります。また、4月16日には憲法改正の是非を問う国民投票が予定されていますが、足元の世論調査でも賛否は拮抗(きっこう)しており、政治動向にも注目が集まりやすい環境が続きます。

【トルコ 金利推移】 (2017年3月3日～2017年3月31日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/31	月次	2月	貿易収支	-36.9億ドル	-43.3億ドル
3/31	四半期	4Q	GDP	3.5%	-1.3%
4/3	月次	3月	消費者物価指数(前年同月比)	11.29%	10.13%
4/3	月次	3月	消費者物価指数(前月比)	1.02%	0.81%

※「主要経済指標」は、資料作成時点のデータを基に作成しております。

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>